

第2881回例会 令和5年1月26日(木)

出席委員会委員長	神谷正康
会員総数	23名
本日の出席者(免除者)	18名(4名)
本日の出席率	78.2%

会長あいさつ

会長 早川比呂太 君

皆さん、こんにちは。本日の卓話者は地区職業奉仕委員長の青山博徳君です。所属は春日井RCです。青山さんは昨年もお越しいただきました。コロナ第5波で騒いでいる最中にも拘わらず来ていただいたことを覚えています。昨年の印象はロータリアンとしての職業奉仕というよりも、全ての職業人に必要な考え方を教えていただいたように思います。今年度は3人の新入会員がお見えですので、ちょうどいいタイミングでの卓話になると思います。

今足が悪く朝のウォーキングを止めて自転車で40分ほど走っています。更に最近お尻の下の太ももの当たりが痛くなってMRIを取りましたら、脊柱管狭窄症という診断でした。背骨の付け根当たりの隙間が狭くなる病気ですが、ひどくなると歩けなくなるようです。その関係がどうかは分かりませんが、今度は足の付け根が痛くなり長くは歩けない状態です。今後ゴルフだけは続けたいと思っていますので、最終的には手術かもしれませんが、悪化しないようにケアしていきたいと思っています。

今週のスマイル

親睦委員長 田中三千雄 君

- 早川比呂太君 青山委員長ご指導よろしくお願ひします。
- 渡邊 徹君 地区職業奉仕委員長青山様、「ロータリアンの奉仕と職業奉仕」～今考えるロータリアンとしての職業奉仕～の話楽しみにしています。
- 鳥居万里君 青山さん、本日卓話よろしくお願ひ致します。
- 神谷 林君 青山君の卓話楽しみに聞かせてもらいます。
- 近藤清隆君 青山職業奉仕委員長、本日の卓話楽しみに聞かせてもらいます。
- 山下民義君 地区職業奉仕委員長青山さんの卓話楽しみです。年賀状が2等当選しました。カタログギフト4,000円くらいです。
- 池田榮三君 地区職業奉仕委員長青山博徳君、本日の卓話よろしくお願ひします。寒い時期です。ケガに要注意です。
- 牧野美恵君 青山さん、ようこそ西尾一色RCへ。
- 尾崎三枝子君 青山博徳君、本日の卓話よろしくお願ひいたします。
- 田中三千雄君 青山さんよろしくお願ひします。

5件 10,000円

本日の卓話

「ロータリアンの奉仕と職業奉仕」 ～今考えるロータリアンとしての職業奉仕～

地区職業奉仕委員長 青山博徳 君



職業奉仕は難しい、難解だ、何を対象に奉仕するのか判らないと言うメンバーも居られるかと思いますが、「職業奉仕こそロータリアンの根幹である」とも言われて居ります。

職業奉仕が判り難いのは、「何々の為に奉仕する」と言う日本語が他の委員会である国際・社会・青少年奉仕と違い「言い換えの出来ない」部分があり「職業の為に奉仕をする」では日本語として通じない、相反する意味ではないか？金儲けと奉仕活動って矛盾しないか？と、誤解をされるメンバーも多いからだと思います。

しかし、ロータリアンの先人達は「ビジネスはすべて社会に尽くす手段でなければ、ならない」「4つのテストに照らして行動せよ」と私たちを導いて活動の指針としました。また自らの仕事・職業を高潔な理想を持って遂行する事が、結果的に社会に貢献する根本だと説いています。

ロータリアンの活動は「寄付して終わり、奉仕活動に参加して終わり」では有りません。寄付行為や奉仕活動で学んだ「奉仕の理念」を自分の職場や業界に持ち帰り、日々の仕事の中で「世の為・人の為・公平・真実」を道しるべ、として行動する事がロータリアンの「職業奉仕」と言われる所以です。

ロータリアンの考える奉仕の原点は「I Serve」(私は奉仕する)の言葉に凝縮され、メンバーは職業を通じて社会貢献する共通理念を持った人たちの集まりです。西尾一色ロータリアンのメンバーの「人材」「経験」「ネットワーク」を活かした唯一無比な事業が、必ず在ると思います。

よくロータリアンの樹に表せられるように、ロータリアンの活動の実りの果実や茂る枝葉は、クラブ奉仕と言う根っこ、職業奉仕と言う幹から成り立ってこそ枝葉が茂り事業活動と言う大きな果実が実るのです。

今年の地区方針「未来を描こう、笑顔でつなごう」・・・一人一人のチャレンジを力に、変化に対応出来るクラブを目指して・・・と有る様に、一人のロータリアンとして、職業人として「I Serve」(私は奉仕する)の気持ちをクラブの奉仕活動に活かして頂きたいと願ひます。

今週の献立

【福きたる】

